

飯塚市議会議員 うえの伸五の市政報告

「ゴーゴー・しんご」 全力投球

第五球！



こんにちは、「うえの伸五」でございます。

おかげさまで、元気に「全力投球」の議員活動を、
続けさせていただいております。

日々の活動報告は、

ホームページ <http://ueno-shingo.com/>

活動ブログ <http://d.hatena.ne.jp/ueno-shingo/>

を、是非ご覧下さい。

今議会に提出された

「定数削減と選挙区制」に関する議案について、

- ・議員定数を、六人減らし「二十八人」とする。
- ・前回通り、旧自治体毎の「選挙区制」とする。

(旧飯塚市十七人・旧穂波町五人・旧筑穂町二人・

旧庄内町二人・旧穎田町二人) については、

賛成多数で可決されましたが、

私「うえの伸五」は、反対させていただきました。

しかし、定数削減・選挙区制の維持、このどちらにも

「頭から反対」という事ではありません。

議案に反対した大きな理由は2つあります。

一つは「余りにも時間がなかった」という事です。

昨年の九月議会には、「定数を六つ減らし二十八人と
する」議案が提出されましたが、選挙区の継続について
は、今議会で初めて提示されました。

議員同士でも議論を尽くしてない上に、市民の皆さんの考えをお聞きする時間もなかった。

また、三十四人の議会になって、一年数ヶ月しか経過してなく、定数を何人減らすべきか、選挙区は本当に必要なのか、という、

大きな問題に決断を下す「確固たる理由」は、この時期には見当たりませんでした。

とは言え、

ギリギリまで決断を持ち越すことは、次の選挙への立候補を考える（特に新人の）方には、大変不利になります。

市民の皆さんからのご意見もいただきながら、来年の三月議会までには、より多くの方々に賛同していただける、定数削減・選挙区の問題についての答えを出すべきだと考えておりました。

飯塚市全体に、大きな影響を与える議案だからこそ、もつと時間をかけるべき。

これが、一つ目の理由です。

*二つ目の理由は、「議員定数について」です。

選挙区を設けて選挙を行う場合には、その「地区別議員定数」は、原則として、官報で公示された人口を基準に割り振る、という定めがあります。

今回、地区別の議員定数の計算基準となっている、旧一市四町の人口は、全体で十三万三三五七人です。

（平成十七年度国勢調査）

現議員の任期満了は平成二十三年の三月ですから、より現状に即した「地区別議員定数」を決定するとすれば、

例えば、「平成二十二年度の国勢調査」を基準に、地区別議員定数を算出することが適当、という見解も示されております。

その場合、今回 基準となった全体人口数が変わらなかった、と仮定すると、およそ「百三十人弱」の方が、旧穎田町から旧穂波町へ引越しされると、旧穂波町の議員定数は「五名から六名へ」、旧穎田町の議員定数は「二名から一名」となります。これで、本当に良いのでしょうか？

この疑問は、穎田地区に限らず、他地区の皆さんもお持ちになると思います。

定数を削減し、選挙区を設定するとしても、この様な可能性を、しっかり考えながら決定すべき。

これが、二つ目の反対理由です。

私は、穎田地区の皆さんから選出していただいております。

「愛する 穎田を守りたい」

だからこそ、「穎田地区から議員一人」という可能性が残る 今回の議案に、私は反対いたしました。

採決の結果、残念ながら

「十九対十三」の賛成多数で可決されました。

今後は、

穎田地区が決して「一人区」とならないように、あらゆる努力をしまいる所存です。

※教育の町（地区）「かいた」の継続

今まで、穎田地区が一丸となり、培ってきた地域性は、大変 貴重なものです。

良いカタチのまま、

飯塚市の「教育モデルケース」へと、つなげなければなりません。

そのモデルケースとは何か？

そもそも「教育特区」の次なる目標は、

「小中一貫教育」であったと聞き及んでいますし、私も同感です。

是非とも実現したい。

実現に向けて「うへの伸五」は、次のような活動をしております。

まずは、社会教育と学校教育との連携とも合わせて、今年度、少年野球 颯田ライオンズと、中学校野球部との「合同練習」の試みが実現いたしました。練習を見ていると、いつもより高揚しながらも、年下に配慮し、また、年上に敬意を表する子ども達も、素晴らしい姿がうかがえます。

この実現も、校長先生や担当教師の方々、颯田ライオンズの監督・コーチ、それぞれの保護者の皆さんの、多大なるご協力のお陰です。

今後も、様々な「小中連携のかたち」について考え、関係各位にご相談しながら、その実現に向けて「全力投球」活動を続けてまいります。

また、今年度、颯田小中学校は、

「飯塚市 小中一貫教育 研究指定校」

に指定されております。

目標に向かって、階段を一つ登りました。

「教育特区の思い」をそのままに、

引き続き、「一貫教育の実現」を目指します。

まだまだ、課題が尽きることはありませんが、大切な子ども達の、心身ともなる健やかな成長のため、今後とも、皆様方のご協力を、どうぞよろしくお願いたします。

※ 颯田地区で、最も危険な箇所の一つである、

木浦岐地区、松尾工業団地への

「バイパス入り口の交差点化」については、

福岡県の組織機構改革により、現在、ドサクサに紛れています。飯塚市の経済部・産学振興課はじ

め、福岡県の企画地域振興部・広域地域振興課、飯塚土木事務所など関係各所との連携を保ちながら、実現に向けて、今後とも活動を続けてまいります。

鹿毛馬地区より福智町へ抜ける道路（ゴルフ場前）

については、

子ども達の遠足など「通行時の危険度」について議論がなされてきました。

現在まで、福智町側は歩道の設置工事が進行しており、飯塚市側は、手付かずの状態でしたが、

今年度、飯塚市関係部署において、重要施行検討箇所として、把握・認識をしていただきましたので、

ここ数年のうちに、

工事着手が実現できるものと考えます。

新しい歩道が、自治体を超えた交流や、「地元の方々の安全確保」に寄与できると確信いたします。

※今までの役職等に加え、

「公共施設等のあり方に関する調査特別委員会」の

副委員長を仰せつかりました。

この特別委員会は、民間委員の方々に構成された「飯塚市公共施設等のあり方検討小委員会」からの答申内容に即して、合併後の飯塚市内に存在する、七百を超える「公共施設の今後について」

を検討するものです。

期間は、平成二十一年十一月までの長期間が予定されており、

公共施設の今後のあり方については、

飯塚市の将来像に、

大きく影響を及ぼすものだと考えております。

行財政改革の一端とは申せ、

各地区の特徴も加味し、議論を尽くしながらも、スムーズな委員会運営を心がけてまいります。

「平成二十年度 第二回 飯塚市議会定例会」にて六月十九日に行った「うへの伸五」の一般質問です。

「入札制度」、「鯉田工業団地造成工事」の

二点について質問をいたしました。

「入札制度について」の要点は二つです。

要点① 等級制（ランク付け）の廃止。

要点② 最低制限価格の事前公表中止。

「鯉田工業団地造成工事について」の要点も二つ。

要点① 全工事を地元業者へ発注する。

要点② 完成時期については柔軟に対応する。

それぞれの質問には、いくつかの理由があります

が、その主な点をご紹介します。

（私の記録・答弁者からの聞き取りを、まとめたものですので、議事録と全く同じではないという事をご承知おき下さい。）

「入札制度について」の

要点① 「等級制（ランク付け）の廃止」は、

談合防止の観点から、同じランク内の企業だけで入札を行うよりも、一定能力以上の企業、全てを対象とし、より競争性を高めるべきである。

と、いう考えから主張いたしました。

要点② 「最低制限価格の事前公表中止」は、

事前公表により、工事積算を行わない業者も含み最低価格での抽せん受注が増えている。

公共工事の質の確保という観点からも、最低価格の設定は必要だが、その事前公表は中止すべきだ。

と、いう考えから主張いたしました。（あわせて、

不適格な業者の調査徹底も主張いたしました）

この入札制度については、総務委員会で継続的に審議がされていますので、今後、委員会の中で様々

な検討を重ねていただき、行財政改革で限られた厳しい予算の中、健全な地場企業の育成・適正価格での公共工事の実施などのためにも、透明で公正な入札制度の確立をお願い申し上げて、この質問は終わりました。

「**鯉田工業団地造成工事について**」の

要点①「全工事を地元企業へ発注する」は、

この工業団地開発事業は、周辺整備も含めると約二十億円を超える大工事です。

地質調査の結果からも、あえて、ゼネコンに工事を任せる必要は無い。との事ですので、是非とも、より多くの地元企業の方々に発注していただき、地域活力の原動力の一つとしていただきたい。

と、**いう考えから主張いたしました。**

要点②「完成時期については柔軟に対応する」は、

本工事は、平成二十二年三月を完了予定としていますが、既に、複数の隣接自治体には、自動車関連企業が進出していますし、現在も、誘致活動は活発化しています。

また、その工事完了時期には、直方市をはじめ、県内数ヶ所の自治体による工業団地工事の完工が予定されています。

燃料高騰の影響など、今後の自動車産業の動向も勘案し、工事完了時期については、柔軟な対応が必要である。と、**いう考えから主張いたしました。**

これだけの大きな工事ですから、**今後の進展にも慎重を期し、透明性を確保しながら、進めてほしい。**このような旨を申し上げ、この質問を終了いたしました。

※ 駐車場の確保

飯塚市役所から、道を一本はさんだ場所に、児童育成課・保護課・保育課が配置されている第2庁舎があります。

ここの玄関前駐車場を、公用車専用ではなく、市民にも開放してほしいとの要望を受けました。

早速、現地を確認すると、市民用駐車スペースは、障がい者の方向けの一台分だけ。

これは「是非ともなんとかしていただきたい」旨、お願いしたところ、先ずは、と言うことで、

四台分のスペース増やしていただきました。

小さいお子様連れや、ご高齢の方に、優先的に利用していただきたいと思います。

「譲り合いながら」のご利用、よろしくお願いいたします。

ご意見・ご要望をお聞かせください

一人が気付いた事には、実は、何人もが「困っている」かもしれません。気がついた事があれば、お気軽にお知らせ下さい。

サポーター募集

- ◆ 「ゴーゴー・しんご」配布のご協力。
(ご近所だけで構いません)

- ◆ 市政へのご意見・政策案へのご協力、等など。
「やったろー」と思っただけでしたら、メールにてご連絡下さい。

【パソコンアドレス】 info@ueno-shingo.com

**こちらは「全力投球」活動ホームページです。
是非ご覧ください。**

【ホームページアドレス】

<http://ueno-shingo.com>